

第52回ロータリー研究会

ゴードンR.マッキナリーRI会長を迎え、第52回ロータリー研究会および付随行事が、佐藤芳郎 RI 理事の招集により11月19日(日)～22日(水)に兵庫県神戸市のポートピアホテルで開催されました。

21日(火)のロータリー研究会第一日目の開会式で、佐藤 RI 理事から、ポリオ根絶と奉仕、会員数や DEI など変わりつつある Rotary 最新動向の報告がありました。続く基調講演では、マッキナリーRI会長が「Create Hope in the WORLD」の中で「愛こそが、敵を友人に変えることのできる唯一の力である」というマーティン・ルーサー・キング Jr の言葉を紹介、また、メンタルヘルスについて参加者の理解を呼びかけました。三木明 TRF 管理委員は、管理委員を代表して財団活動の報告をし、「ロータリーの役割は結果を求めず、ただひたすらに種をまくこと」と、私たちにできる支援の大切さを会場に伝えました。



続いて、(公財)ロータリー日本財団千玄室理事長が「満100歳を迎えて」の講話の中で、寛容と忍耐がなければ愛は生まれぬこと、Rotary は手を取り合って一緒に自分を磨く場所であり、少しでも前進していく自分が大切だと語り掛けると、会場は大きな拍手に包まれました。

ロータリーの最優先事項であるポリオ根絶においては、名誉世界保健機関(WHO)西太平洋地域事務局長である尾身茂氏が絶対的な資金不足から救ってくれた Rotary への感謝とポリオ根絶が最終段階まで来ていることに触れ、「最後が大切です。あと少し一緒にがんばりましょう」と締めくくりました。二日目には、奉仕の実践のセッション後に、福祉施設への御菓子の袋詰め体験もあり、新しい試みと充実した内容で笑顔あふれる研究会となりました。

ロータリー財団地域セミナー

19日(日)にはRRFC主催で財団地域セミナーが開催されました。200名近くが参加したこのセミナーでは、ロータリー財団の寄付と奉仕活動についての取り組みが紹介されました。大阪東ローターアクトクラブの西岡遥会長と第2660地区宮里唯子直前ガバナーは、初のローターアクトクラブによるグローバル補助金プロジェクトとなるモンゴルでの図書館プロジェクトの経験を共有しました。一度は不承認になったものの、チームで計画を練り直し、より良いプロジェクトとして必要な支援を



[My ROTARY RIレポート](#) [寄付送金明細書](#) [寄付・認証の手引き](#)

寄付総額 世界上位5ヶ国

2023年12月18日現在

アメリカ	\$	36,731,153
韓国	\$	10,587,597
インド	\$	8,058,165
日本	\$	7,580,566
台湾	\$	5,207,219

2023-24年度
目標(世界)

- ・年次基金:1億5,000万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:1億4,000万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:6,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):5億ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル
- ・年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成 EREY(年次基金への寄付)の推進
- ・ポール・ハリス・ソサエティの推進(各地区+30名目標)
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へのDDF寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェロシップの推進

日本の状況

冠名基金数 260
AKS会員数 64
PHS会員数 1420

現地に届けた行動力と、それを一緒にサポートした地区の体制から、参加者は多くのヒントを得ていました。他にも最優先事項であるポリオ根絶や、環境保全プロジェクトなどが紹介され、第4セッションではこういった活動を支えてくださる財団への寄付と感謝の機会、DDFの活用方法についてのパネルディスカッションが行われました。

ジャードナー顕彰午餐会／アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)入会式

20日(月)、神戸ポートピアホテル「大輪田」において、三木明 TRF 管理委員代表や佐藤芳郎 RI 理事ご参加のもと華やかに、午餐会および AKS 入会式が恒久基金／大口寄付アドバイザー(E/MGA)の主催で開催され、日本中から約170名のアーチ・クランフ・ソサエティ会員、メジャードナー、遺贈友の会会員が一同に会しました。

会場での記念写真の撮影の他、メジャードナーの顕彰や5組のAKS新入会員へ認証状が贈呈されました。

<AKS 新入会員>

- 樫畑 直尚・順子ご夫妻
(第2640地区)
- 杉川 聡・加津子ご夫妻
(第2710地区)
- 吉原 久司・美和子ご夫妻
(第2710地区)
- 宮崎 陽市郎・永子ご夫妻
(第2750地区)
- 松岡 通夫・明子ご夫妻
(第2680地区)



AKS 新入会員のご挨拶では、周囲から背中を押されたことで AKS 会員となり、世界中でよいことをする活動に対して貢献できることは、大変素晴らしいことだと感じているというお話をいただきました。

2022-23年度年次報告が掲載されました！
昨年度の活動のハイライトを
ぜひご覧ください。

[年次報告\(オンライン版\)](#)

リソース
<My ROTARY>

- [Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
- [「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
- [ブランドリソースセンター](#)
- [ロータリーの日本語フェイスブック](#)
- [ロータリーボイス](#)
- [ロータリーの YouTube](#)
- [組織規定](#)
- [管理委員会の決定](#)
- [ロータリーのプライバシーの方針](#)

[ロータリーのラーニングセンターを活用しよう](#)

<資料>

- [財務報告](#)
- [年次報告\(オンライン版\)](#)
- [ロータリー財団概要資料](#)
- [ロータリー財団参照ガイド](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、「各種レポート」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C、クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

認証や、各種レポートの閲覧方法等は、「[寄付・認証の手引き](#)」もご参照ください。

[災害救援基金へのご寄付に関する最新情報](#)

- [「パキスタン洪水救援基金」と「ウクライナ救援基金」について](#)
- [「モロッコ地震救援基金」について](#)

ウクライナ救援基金・パキスタン洪水救援基金・モロッコ地震救援基金へのご寄付・DDF 寄贈の受付は
2023年12月31日まで。

お知らせ

【気候変動に関する国連会合でロータリーが28のセッションを主催】

COP28(国連気候変動枠組条約第28回締約国会議)で、地域主導の解決策、パートナーシップ、対話を強調するプレゼンテーションとワークショップを実施

第28回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP28)で、ロータリーの専門家が、気候変動と健康、貧困、その他の要因と関連する20以上のセッションを主催しました。また、ゴードン・マッキナリー会長は、気候に関連した災害が精神衛生に及ぼす影響について講演しました。

ドバイでの開催となった2週間の会合は、気候問題に取り組む世界最高意思決定プロセスです。197の国と地域から7万人を超える代表団が集まり、数千の非政府組織や企業なども参加しました。ロータリーは、今回が3回目の出席となり、地域主導の解決策、パートナーシップ、対話の重要性を強調して伝えました。

「今年の世界各地での記録的な気温は、気候変動に対する早急な対策の必要性を浮き彫りにしました」とマッキナリー会長。「また、気候変動がグローバル・メンタルヘルスの分野でも甚大な破壊的被害をもたらしていることも証明されました」 記事の続きは[こちら](#)

【食生活を変えて温室効果ガスを減らす】

電気自動車や風力発電など、気候変動を抑えるためのさまざまな対策が取られています。しかし、効果的な解決策の一つは、実は私たちの食生活にあります。専門家によると、私たちが「何を食べるか」という選択は、人間の健康だけでなく、地球の健康にも大きな影響を与えます。

人類が引き起こす温室効果ガスの推定3分の1は、世界の食料システムから排出され、特に畜産関連が大きな部分を占めています。例えば、植物性(プラントベース)の食品だけを食べる人は、通常量の肉を毎日食べる人よりも、温室効果ガスの排出量が75パーセントも少ないことが、オックスフォード大学の研究で示されています。

「食べるものが気候や環境に関係するとは、最近まで知りませんでした」と話すのは、引退した元教師クリス・キャメロンさん(米国ワシントン州、ワナッチャーコンフルエンス・ロータリークラブ会員)です。「気候変動を抑止する力は、ずっと前から目の前にあったのです。必要なのは、その力を活かすことです」 記事の続きは[こちら](#)

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHSパンフレット](#)

[PHS入会フォーム](#)

[PHS認証状テンプレート](#)

[PHSオンライン入会手続き\(ppt\)](#)

[資金モデルの変更について\(2021年7月より有効\)](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

恒久基金

[「恒久基金 地区の手引き」](#)

[ロータリーの恒久基金](#)

[恒久基金の財務報告](#)

[ロータリー賞](#)

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: $DDF2 + WF1 + \text{ゲイツ} 6 = 9$

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

[DDFオンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区には、次年度に感謝状が贈られます。

【2024 シンガポール国際大会に参加しましょう！】

寄稿者：服部 陽子さん（東京広尾ロータリークラブ会員、シンガポール国際大会推進チームメンバー兼推進コーディネーター）

みなさんは、これまでに国際大会に参加されたことがありますか？まだ経験がないという方も、既に何回もあるという方も、ぜひ今年度は国際大会に参加なさって、国際大会ならではの醍醐味を味わっていただきたいと思います。国際大会は、友情と学びが融合し、インスピレーションが生まれる舞台と言われています。

[今年度の国際大会](#)は2024年5月25日より29日まで常夏の国、シンガポールで開催されます。シンガポールは日本から飛行時間が6～7時間、直行便も多く、時差も1時間と参加しやすい開催地です。本会議はナショナル・スタジアムで、分科会やイベントなどはシンガポール人気スポットのマリーナベイ・サンズで行われます。

国際大会に参加してみてロータリー観が変わったという話を時々耳にしますが、私も初めて参加した2004年の大阪大会の感動は今も強く印象に残っています。昨年度のメルボルン国際大会に私の所属クラブの入会2年、クラブで最年少である27歳の会員が参加しました。彼の終始目を輝かせている姿に、こちらまでわくわくしてきて、地区のガバナークラスでは一緒にダンスを踊り楽しいひと時を過ごしました。入会間もないこの会員にとって、例会とはまた別のロータリーの魅力を存分に感じる事ができた貴重な体験であったと思います。

記事の続きは[こちら](#)

[2024年ロータリー国際大会](#)
[国際大会 寄付者行事](#)

【世界中で活躍する「世界を変える行動人」】

世界のプロジェクトをご紹介します。記事は[こちら](#)

寄付・認証

【恒久基金：2025年までに20億2500万ドル】

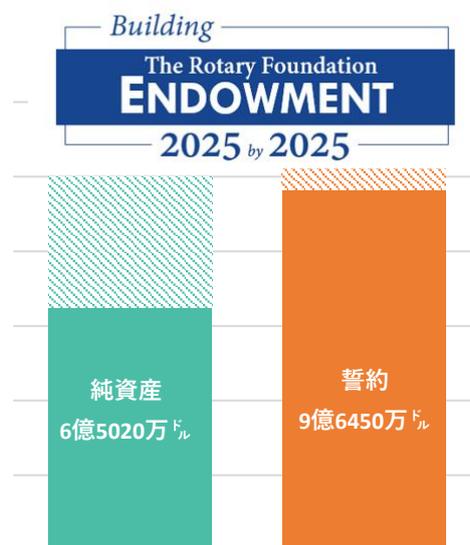
恒久基金は投資され、元金が支出されることなく利用可能な収益の一部がロータリー財団のプログラムを支えるというものです。また、プログラムが永続的なものとなるように、2025年までに恒久基金を20億2500万ドルとする寄付目標が立てられています。

➤ 目標

純資産 10億ドル + 寄付の誓約 10億2500万ドル
= 20億2500万ドル

➤ 現在

合計：16億1500万ドル
目標達成まであと4億1000万ドル
(純資産 2023年10月31日、寄付の誓約 2023年11月30日現在)



PHF認証ポイント使用申請書の送付先

認証ポイントの移譲手続きの際は、「[ポール・ハリス・フェロー認証ポイント使用申請書](#)」を日本事務局財団室までお送りください。その際、送付先メールアドレスにお間違えの無いようお気を付けください。

送付先 RIJPNTRF@rotary.org (財団室)

ポリオプラス



【2022-23年度「ポリオのない世界を目指す奉仕賞」の受賞者】

2022-23年度「ポリオのない世界を目指す奉仕賞」は、ポリオ根絶活動における多大な貢献をした会員に贈られる賞です。受賞した68名のロータリー会員が発表されました。

受賞者の一覧は[こちら](#)

【再生可能エネルギーがポリオ根絶活動に変化をもたらす】

世界では10億人近くの人びとが、安定した電力が供給されない施設で医療サービスを受けています。電力が不安定である場合、診断やワクチン保冷を含む医療活動が中断されます。熱波、洪水、その他の異常気象が増えるにつれ、停電や熱需要の上昇などによる電力停止が増加すると予想されます。ポリオ根絶活動のラストスパートにおけるこうした課題に対応し、二酸化炭素排出量を削減するため、GPEI(世界ポリオ根絶推進活動)とそのパートナー団体は太陽光発電に目を向けました。太陽光発電は、より安価で信頼性が高く、気候変動にも強く、予防接種とサーベイランスに必要とされる電力の確保に役立ちます。記事の続きは[こちら](#)

【ポリオの最新情報: 発症ゼロに向けて】

パキスタンとアフガニスタンでは、野生型ポリオウイルスによる発症が依然として起きています。昨年、ポリオフリーとなっていた複数の国で変種ポリオウイルスが検出されました。このことは、ポリオがどこかに存在している限り、世界全体の脅威となることをまざまざと伝える事例となりました。最近の進展と課題を探るため、『Rotary』誌の取材チームは、世界保健機関(WHO)のエイダン・オリーリーさん、UNICEF(国連児童基金)のメリッサ・コーカムさん、米国疾病対策センターのオモタヨ・ボルさんにお話を伺いました。動画は[こちら](#)

【2023年世界ポリオデー】

今年、4,000以上のクラブが115カ国で6,300件を超える世界ポリオデーの活動を実施しました。特に第4455、4170、4700、4590、4380地区では、世界ポリオデーの活動を記録したクラブの割合が世界で最も高くなりました。ポリオ根絶に対するロータリー会員の献身と情熱は、さまざまな活動からも明らかです。今年も、[犯罪小説集の出版](#)や[恐竜のコスチュームでのレース](#)など、工夫を凝らした新しい方法でポリオ根絶のための認識向上と募金が行われました。

[End Polio Now ウェブサイト](#)

[世界各地のポリオ根絶活動](#)

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2023年 1月1日～ 12月19日	2022	2021	2020
常在国	パキスタン	6	20	1	84
	アフガニスタン	6	2	4	56
非常常在国	モザンビーク	0	8	0	0
	マラウイ	0	0	1	0
世界合計		12	30	6	140

補助金

【大胆な活動が南アフリカの学校を変える】

パートナーシップの構築には時間がかかることもありますが、その成果は目を見張るものがあります。南アフリカと米国の二つのロータリークラブは、ジャクソンホールの病院で働いていたある人物の行動がなければ、パートナーになることはなかったかもしれません。このパートナーシップがもたらした成果は非常に大きく、南アフリカの11の学校で54万米ドルをかけた施設の大改修が行われ、これによって毎年7,200人以上の生徒が恩恵を受けています。

かつて南アフリカに住んでいた米国ワイオミング州のヘルスワーカー、ジュリア・ヒームストラさんは、ジャクソンホール・ロータリークラブの例会で、南アフリカの多くの人びとが直面している水不足について語りました。次回の帰国時には、手荷物に入る限り多くの携帯浄水器を持っていくつもりだと話しました。

「それはただ、私がダッフルバッグに浄水フィルターを入れ、町に行って学校と協力してそれらを配るというものでした」とヒームストラさん。「ロータリークラブでそのことを話したのですが、例会が終わると、ロータリアンが小切手帳を持って私のところに来て、いくら必要なか、そして誰に小切手を切ればいいのかと聞いてくれました。」 記事の続きは[こちら](#)

【プロジェクトフェアでネットワークを広げ、変化をもたらし、世界を体験する】

寄稿者:Ligia Corredor さん(米国、ミラマーパインズ・ロータリークラブ会員)

プロジェクトフェアは、クラブと地区のロータリー会員やローターアクト会員が集まり、アイデアを出し合い、協力してプロジェクトを進め、互いに学びあえる素晴らしい機会です。プロジェクトのパートナーになれる会員と出会い、信頼関係を築き、ネットワークを広げ、世界に大きなインパクトを与えることができます。

私は中米とコロンビアでのプロジェクトフェアに25回ほど参加し、さまざまな恩恵を受けてきました。新しいプロジェクトや取り組みについて学び、新しい友人と出会い、世界中のロータリアンとの強い絆を築くことができました。

プロジェクトフェアに参加するメリットの一部をご紹介します。

記事の続きは[こちら](#)

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)

授与と受諾の条件

- [地区補助金用](#)
- [グローバル補助金用](#)

[補助金による旅行](#)

[ロータリーの旅行禁止国リスト](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の方法](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

[ローターアクトによるロータリー](#)

[補助金の利用 よくある質問](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野ガイド](#)

[重点分野別ガイドライン](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)
- [環境](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[ロータリーショーケース](#)

[プロジェクトフェア](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[重点分野の担当職員](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイド奨学生](#)

[グローバル補助金申請書のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェローシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<補助金の参加資格認定>

[参加資格の認定](#)

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[地区の参加資格認定 FAQ](#)

[地区資金管理計画ガイド](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。
地区・クラブでも感謝の機会をお創りください。

2023年11月24日～12月22日 確認分(敬称略、寄付日順)

地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2750	東京南	村井 温	2630	岐阜 サンリバー	塩津 健
2840	前橋	山田 邦子	2510	札幌北	出村 知佳子
2650	あすか	中川 基成	2780	相模原	杉岡 芳樹
2790	富里	寒郡 茂樹	2750	東京 世田谷	高橋 茂樹

計 9 名(匿名含む)

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

<ロゴ>

[ブランドリソースセンター](#)
[ロゴのテンプレート、クイックガイド](#)
[「END POLIO NOW」のロゴ](#)
[ラーニングセンターの「公共イメージ」](#)
のコース内の、ロータリーのロゴやブ
ランドのコースもご活用ください。

[クラブ推進の強い味方:ブランドリ
ソースセンター](#)
[クラブで SNS を活用するヒント](#)

今後の予定

11月～ 12月	ロータリー財団功労 表彰状 推薦期間
1月～2月	ロータリー財団特別 功労賞 推薦期間
2月23日	ロータリー創立 記念日
5月25日 ～29日	ロータリー国際大会 (シンガポール)

2023年も、 大変お世話になりました！

日本事務局は、12月29日から1月3日まで、年末年始休業となります。新年は1月4日10時半より業務再開いたします。

皆様にとってよき一年となりますように、心からお祈り申し上げます。

2024年も、どうぞよろしく願いいたします。

国際ロータリー日本事務局財団室
〒108-0073
東京都港区三田 1-4-28
三田国際ビル 24 階
Email: RIJPNTRF@rotary.org
Tel: 03-5439-5805
Fax: 03-5439-0405

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。

ロータリー財団 2023-24年度 11月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,185	72.52	158,460.99	25,723.07	40,413.24	1,305.36	225,902.66	293%
2510	2,355	44.32	104,380.35	16,377.23	11,070.92	3,495.84	135,324.34	93%
2520	2,006	30.05	60,287.80	23,782.29	25,041.10	3,247.25	112,358.44	147%
2530	2,162	21.18	45,789.15	12,866.08	1,274.80	738.25	60,668.28	64%
2540	1,101	22.67	24,957.47	2,106.67			27,064.14	129%
2550	1,591	44.03	70,058.72	20,324.20	12,000.00	4,200.00	106,582.92	169%
2560	1,986	58.19	115,558.58	22,125.74		68.49	137,752.81	105%
2570	1,537	45.91	70,562.14	23,743.25	20,555.28	1,000.00	115,860.67	89%
2580	2,878	83.13	239,255.33	63,194.54	59,862.62	23,886.40	386,198.89	117%
2590	1,830	96.65	176,871.62	33,379.10	18,000.00	10,068.49	238,319.21	105%
2600	1,792	43.01	77,075.07	66,231.42	2,021.12	2,909.34	148,236.95	115%
2610	2,438	37.33	91,001.83	19,200.77	1,268.44	206.90	111,677.94	98%
2620	2,821	60.84	171,635.49	40,153.44	18,095.68	7,005.97	236,890.58	117%
2630	3,004	41.35	124,208.84	27,338.67	11,070.92	6,332.58	168,951.01	70%
2640	1,548	42.00	65,022.03	12,462.99	2,600.40	473.03	80,558.45	114%
2650	4,160	73.56	306,022.81	56,764.82	11,040.00	6,660.59	380,488.22	112%
2660	3,385	102.85	348,143.36	130,593.66	100,817.07	20,382.77	599,936.86	107%
2670	2,822	43.96	124,044.09	35,895.94	2,100.67	174.74	162,215.44	86%
2680	2,499	49.26	123,102.71	28,270.59	246,646.75	2,191.61	400,211.66	242%
2690	2,861	57.89	165,617.26	53,123.86	47,626.00	2,008.01	268,375.13	114%
2700	3,028	27.62	83,620.83	16,994.68		1,214.27	101,829.78	76%
2710	3,104	66.52	206,490.42	46,338.60	91,811.00	70.92	344,710.94	118%
2720	2,298	64.11	147,331.61	27,871.59	12,169.95	3,467.37	190,840.52	112%
2730	2,297	21.49	49,362.43	11,701.52	1,000.00	4,662.10	66,726.05	96%
2740	2,058	23.74	48,865.97	15,811.75	1,100.00	68.49	65,846.21	96%
2750	4,479	97.13	435,038.86	84,175.28	130,953.42	16,390.57	666,558.13	117%
2760	4,516	94.50	426,764.97	107,417.53	23,765.75	4,240.45	562,188.70	112%
2770	2,251	100.37	225,940.20	52,679.35	42,200.00	6,859.51	327,679.06	90%
2780	2,346	58.11	136,324.33	70,321.01	9,503.57	1,677.12	217,826.03	122%
2790	2,624	71.14	186,669.10	40,160.31	23,500.00	3,137.24	253,466.65	106%
2800	1,463	53.15	77,765.28	9,927.98	4,076.85	206.90	91,977.01	89%
2820	1,852	96.43	178,579.71	36,989.71	18,075.00	1,500.00	235,144.42	137%
2830	1,082	24.95	26,994.82	7,033.20	2,308.65		36,336.67	79%
2840	2,003	37.76	75,637.52	15,447.97	10,067.11	68.97	101,221.57	92%
日本	82,362	60.31	4,967,441.69	1,256,528.81	1,002,036.31	139,919.53	7,365,926.34	112%
世界	1,153,717	38.01	43,855,709.01	12,366,108.29	17,605,544.64	9,483,716.08	83,311,078.02	
日本の 割合	7.14%	-	11.33%	10.16%	5.69%	1.48%	8.84%	

※ウクライナ救援基金・パキスタン洪水救援基金・モロッコ地震救援基金へのご寄付は12月末までの受付となります。2023年7月以降、上記の一時的な基金およびロータリー災害救援基金への寄付は、「その他の基金」に含まれます。